

第62回



# 品質月間

2021年11月1日～11月30日

テーマ

●今こそ目指そう 新たな社会のクオリティ

Now is the time for a quality of new society

## 品質月間(Quality Month)を迎えて

COVID-19感染症リスクの全世界への広まりは、私たちが当たり前と考えていた社会の在り方を瞬く間に変えてしまいました。TQMの根幹である顧客とのコミュニケーション、社内のコミュニケーションも根底から考え直さなければならない現状です。それに伴い国内外の企業を取り巻く環境やビジネスモデルの変革が一挙に加速するのではないかと考えます。

我が国の品質管理活動は、戦後製品の質向上からスタートし、製品やサービスを生み出すプロセスの質、そのデザインや企画の質に進化し、その進化を支える企業マネジメントの質へと進化してまいりました。当たり前のことをきちんと現場が行うための日常管理、今やらなければならないことを組織全体で推進するための方針管理、そしてそれを支える多くの管理技術が品質管理活動の進化の中で誕生し、今日のTQMに至りました。

今回取り上げる「社会のクオリティ」には、国連のSDGs(Sustainable Development Goals)指標など、その改善に向けて国内外の産業界が既に取り組みを開始したものも含まれます。しかし、時代の急速な変化を考えれば、TQMの視点と方法を導入し、顧客・企業そしてSDGsを包括する社会の品質を適切な方法でデザインする活動が求められます。社会を顧客とした社会のための価値創造を社会と共に考え直すことが、皆様方の企業価値の向上にも繋がるはずで、今回の品質月間を新たな社会のクオリティ創生の議論を開始する機会として、多くの皆様方にご活用いただければ幸いです。

第62回品質月間委員会

委員長 椿 広計(情報・システム研究機構理事・統計数理研究所長)

## 品質月間委員会

### 委員長

椿 広計 情報・システム研究機構理事  
統計数理研究所長

### 副委員長

今野 勤 神戸学院大学  
経営学部 経営学科 教授  
酒井 和憲 株式会社東陽テクニカ 顧問

### 委員

足立 研二 NECプラットフォームズ株式会社  
CS品質推進本部 品質推進統括部  
エグゼクティブエキスパート  
石津 昌平 青山学院大学 理工学部  
経営システム工学科 教授  
伊藤 桂一 株式会社日立製作所  
モノづくり戦略本部 技師  
沢 茂樹 株式会社リコー プロフェッショナルサービス部  
品質統括・CFセンター  
品質統括室 QM推進グループ シニアスペシャリスト

### 委員

島 健治 花王株式会社 品質保証部門  
企画・業務推進グループ 部長  
高橋 純一 JSR株式会社 製品・品質保証部  
執行役員  
富永 雄二郎 本田技研工業株式会社 品質監理部  
品質システム教育課 課長  
永井 一志 玉川大学 経営学部  
国際経営学科 教授  
新倉 健一 前田建設工業株式会社  
安全・品質・環境監査部 グループ長  
松井 健 株式会社日本経済新聞社 東京本社編集局  
ビジネス報道ユニット 日経産業新聞編集長  
森 建彦 株式会社LIXIL 品質保証統括部 品質改革推進部  
推進チーム チームリーダー  
森田 晶彦 株式会社IH 高度情報マネジメント統括本部  
セキュリティプロジェクト部  
品質保証グループ グループ長  
吉水 敬三 株式会社竹中工務店 TQM推進室 室長  
吉水 健二 アサヒグループホールディングス株式会社  
事業企画部 マネージャー

### 主催団体 委員

丸山 範久 日本商工会議所 事業部長  
下境 健一 (一財)日本規格協会 業務執行理事  
中島 宣彦 (一財)日本科学技術連盟  
専務理事・事務局長

### 後援団体 委員

田中 大輔 (一財)日本消費者協会 教育啓発部 部長  
柳本 直行 (公財)日本生産性本部  
参事 経営品質協議会事務局長/  
日本経営品質賞委員会事務局長

(敬称略 五十音順 ※但し、委員長、副委員長除く)

### ■主催

品質月間委員会 一般財団法人 日本科学技術連盟  
日本商工会議所 一般財団法人 日本規格協会

### ■後援

NHK 一般社団法人 日本品質管理学会 公益財団法人 日本生産性本部  
一般社団法人 日本能率協会 一般財団法人 日本消費者協会 QC サークル本部  
一般社団法人 日本経済団体連合会 一般社団法人 品質工学会

品質月間ホームページ(<http://q-month.jp/>)もご参照下さい

# 品質月間特別講演会

## 講演概要

- コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度もzoomによるオンラインで開催いたします。
- PC、タブレット、スマートフォンからご参加いただけます。
- 日程、講演内容は準備でき次第、順次品質月間サイトへ掲載予定です。  
(詳しくは月間サイトへ <http://www.q-month.jp/lecture/>)

## 参加申込要領

【参加料】 1講演 ¥1,650(税込)

品質月間テキストの料金は含みません。テキスト購入サイトよりご購入ください。

### 【申込方法】

JSA Webdesk からお申込みください。

トップページ(<https://webdesk.jsa.or.jp>)  
⇒セミナー・説明会⇒公開セミナー  
または、「日本規格協会 セミナー」で検索

お申込みいただいた方には、受講のご案内(請求書、開催案内等)を原則開講1か月前にお送りいたします。請求書受領後請求書に記載の期日までにお振り込みをお願いいたします。  
定員になり次第、お申込みを締め切らせていただきます。  
詳細はウェブサイトをご覧ください。

### 【キャンセルの取り扱いとお願い】

キャンセルの場合は開催1週間前までに Webdesk「お問い合わせフォーム」によりご連絡をお願いいたします。ご欠席の場合は返金をいたしませんので、代理の方のご出席をお薦めいたします。なお、キャンセル・ポリシーは以下の通りです。

### ●キャンセル・ポリシー

教材受領後のキャンセルは一切受け付けません。  
受講料全額(100%)のキャンセル料を申し受けます。

### 【ライブ配信について】

ライブ配信 セミナーでは、Zoom Web 会議サービスを利用いたします。

### <動作環境>

受講用パソコン及びモバイルの動作環境については、Zoom の最新のシステム要件をご確認ください。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>

受講前にこちらをご確認ください。

[https://webdesk.jsa.or.jp/pdf/seminar/kensyu\\_kaijyo/live1.pdf](https://webdesk.jsa.or.jp/pdf/seminar/kensyu_kaijyo/live1.pdf)

# 第62回 品質月間資料申込書

年 月 日

郵便番号	電話番号	( )
住 所		
ふりがな 社 名	事業所名	
部 課 名	ふりがな 氏 名	印
メールアドレス		

※表示価格は税込(10%)です。

品 名	コード	定価(税込)	部 数	金 額
テキスト No.450	20840	550円		
// No.451	20850	550円		
// No.452	20860	550円		
// No.453	20870	550円		
// No.454	20880	550円		
// No.455	20890	550円		
// No.456	20900	550円		
※テキスト No.450~456(1セット)	20910	3,300円	セット	
標語 (5枚1組)	19020	286円	組	
胸章 (10個組)	19090	506円	組	
// (50個組)	19100	2,420円	組	
ポスター A	19150	330円		
ポスター B	19160	330円		
ポスター (2枚セット)	19010	550円	組	
Q 旗 A1	19030	2,200円		
// A2	19040	2,200円		
// B	19050	1,980円		
// 特大	19060	3,850円		
垂 幕 Aセット	19070	4,070円		
// Bセット	19080	4,070円		
垂幕生地 A	19400	2,420円		
// B	19410	2,420円		
垂幕用鉄製パイプ	19390	1,650円		
のぼり Aセット	19201	6,600円		
// Bセット	19211	6,600円		
// Cセット	19271	6,600円		
のぼり生地 A	19240	1,650円		
// B	19250	1,650円		
// C	19260	1,650円		
のぼり用ポール	19280	1,100円		
のぼり用置き台	19290	3,850円		
卓上のぼり	19220	2,200円		
品質サイコロ	19180	220円		
小 計				
送 料				509円(税込)
合 計				

※上記価格には10%の消費税が含まれております。

ご注意：納品は9月下旬～10月初旬の予定です。

送 料：下記の表以外は各月間資料の価格に送料を加算してご請求させていただきます。なお、送料欄に表示の金額は2021年12月末までとし、以後は実費をいただきます。

送料サービス			
テ キ ス ト	100部以上	垂 幕	15セット以上
ポ ス ター	200枚以上	胸 章 ( 1 0 個 組 )	100袋以上
標 語	100組以上	胸 章 ( 5 0 個 組 )	20袋以上
Q 旗	10枚以上		

## 株式会社 日科技連出版社 営業部 販売管理課

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル  
TEL 03(5379)1238 FAX 03(3356)3419

<https://www.juse-p.co.jp/>  
Eメール sales@juse-p.co.jp

ご注文はFAXが便利です。

**FAX : 03(3356)3419**

■個人情報の取り扱いについて：ご記入いただいたお客様の個人情報は、今後の新刊・雑誌等のご案内に利用させていただくことがございます。また、その個人情報は、弊社において法令及び内部規則に基づき厳重に管理いたします。

# 62回目の品質月間がやってきます。 各社で工夫されて効果的な品質月間を 実施してください。

## 各社で行う品質月間行事（一例）

- 品質の総点検
- 社内パンフレットなどの作成・配布
- 品質月間特別講演会、クオリティフォーラムなどへの参加
- Q旗の掲揚、品質月間ポスター・標語の掲示
- 社内報を品質管理(TQM)特集号とする
- 内部監査や社長などによるTQM診断の実施
- 論文などの募集・選考
- 社内の品質管理(TQM)大会の開催、関連する表彰式の実施
- 品質月間テキストなどの購入・配布
- TQMの観点からみたトップへの働きかけなど

### ポスター

(多色刷)

- 全社的に各職場に掲示してください
- 大きさ：72.5cm × 50cm
- 定価：各種(AまたはB)1枚…… 330円(税込)  
1セット(2枚1組)…… 550円(税込)

2種類のポスターより1種類1枚からご購入が可能です。  
2種類1組のセット販売も行っております。

(A)



(B)



※昨年度まで実施しておりました、ポスター  
20セットご購入特典は終了しました。

### 社名入りポスター

- 社名入り品質月間ポスターを受け付けております。
- 社名入りポスターを活用して活気ある月間運動を!!

- お受けする枚数：1点500枚以上
- お申込受付期間：2021年9月30日迄
- 定 価：1点1枚…… 275円(税込) ※バラ売りです

- 別途印刷費(税込・送料込)  
500～1,000枚 一律 …… 44,000円  
1,001～2,000枚 // …… 49,500円  
2,001～3,000枚 // …… 55,000円  
3,001～4,000枚 // …… 60,500円

### 胸章

(2色刷)

- 全社員の胸にみんなの合言葉を!
- 大きさ：直径5cm
- 定 価：10個1組(袋)…… 506円(税込)  
50個1組(袋)…… 2,420円(税込)



\*廃棄については各自治体の“決まり”をご確認ください。市販の安全ピン、抗菌配合のノンフタル酸塩化ビニールフィルムを使用しています。

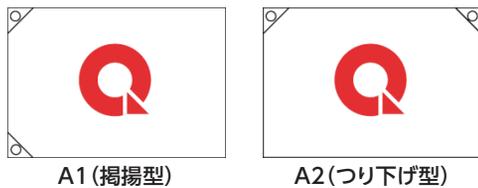
### 卓上のぼり

- 受付やデスク周りに気軽に設置できます。
- 大きさ：幅12cm×高さ(台座まで)36cm
- 定 価：2,200円(税込)



## Q 旗

- 生産意欲を一つに結ぶ目印です。各事業所、職場に掲揚してください。



A1 (掲揚型)

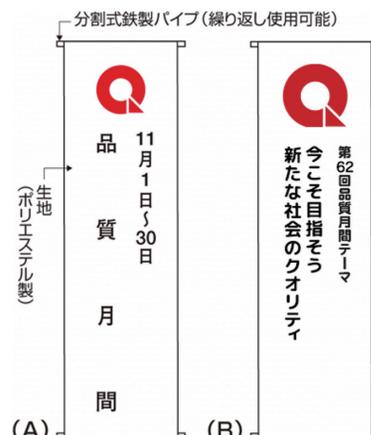
A2 (つり下げ型)

Q旗の種類	大きさ	定価
A1 (掲揚型)	105cm×155cm	2,200円 (税込)
A2 (つり下げ型)	105cm×155cm	2,200円 (税込)
B (掲揚型)	90cm×130cm	1,980円 (税込)
特大 (掲揚型)	140cm×210cm	3,850円 (税込)

## 垂幕

- 各事業所に掲揚してください。大きさ：A・Bとも255cm×92cm

垂幕種類	定価
Aセット(鉄製パイプ+生地)	4,070円(税込)
Bセット(鉄製パイプ+生地)	4,070円(税込)
垂幕生地A	2,420円(税込)
垂幕生地B	2,420円(税込)
垂幕用鉄製パイプ	1,650円(税込)



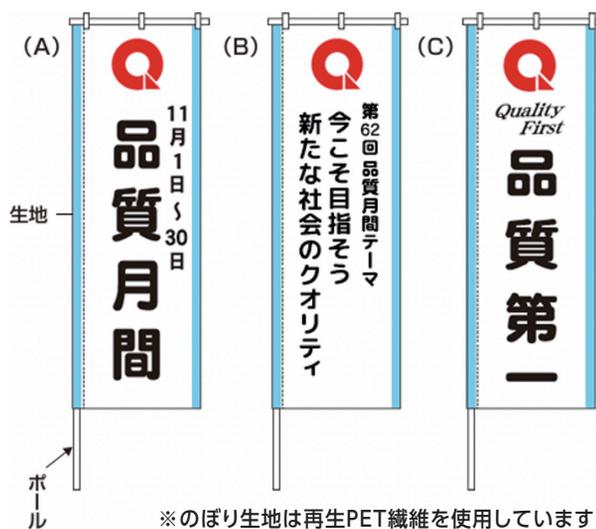
## のぼり

- 各事業所に設置してください。  
種類：A(品質月間タイプ)  
B(月間テーマタイプ)  
C(品質第一タイプ)
- のぼり生地 大きさ：A・B・Cとも 60cm×180cm



ポール  
材質 パイプ：PE被膜鋼管  
部品ジョイント：ABS  
キャップ：ポリプロピレン  
横棒：FRP 85cm(4×7×850mm)  
大きさ：2段伸縮、全長3m、伸縮長1.61m  
焼却処分時ダイオキシンを発生させない樹脂使用  
日本製

のぼり種類	定価
Aセット(生地+ポール+注水台[置き台])	6,600円(税込)
Bセット(生地+ポール+注水台[置き台])	6,600円(税込)
Cセット(生地+ポール+注水台[置き台])	6,600円(税込)
のぼり生地A	1,650円(税込)
のぼり生地B	1,650円(税込)
のぼり生地C	1,650円(税込)
のぼり用ポール	1,100円(税込)
のぼり用注水台[置き台]	3,850円(税込)



※のぼり生地は再生PET繊維を使用しています。



注水台 [置き台]  
材質：ポリエチレン製  
色：アイボリー  
大きさ：40cm角×高さ15cm  
タンク容量：17リットル  
適応パイプ径：20φmm～30φmm  
中国製

## 標語

- 全社的に各職場に掲示してください。
- 大きさ：12cm×37.5cm
- 定価：5枚1組・・・286円(税込)



※垂幕(生地・鉄製パイプ)、のぼり(生地・ポール・注水台)は単品個別販売を行っております。

※各商品のデザインは若干修正される場合がございます。

※数量に限りがございますためご注文はお早めをお願いいたします。

## 第60回品質月間記念商品 品質サイコロ

- ※一昨年の第60回品質月間を記念した特別商品です。
- ご自分で切って組み立ててください。
- 大きさ：4.1cm×4.1cm
- 定価：220円(税込)



第62回目を迎える品質月間では、次の7冊の品質月間テキストを販売いたします。

仕事に役立つ知識や事例がたくさん詰まっています。是非、皆様のスキルアップの一環として、あるいは品質活動に関する教材として品質月間テキストをご活用ください。

No.	対象	テキストタイトルと主な内容	編著者
450	トップ 部課長	<p><b>1.「キリンホールディングスのCSV経営と取り組み」</b></p> <p>キリングループは、2019年度からスタートした長期経営構想「キリングループ・ビジョン2027(KV2027)」において、“食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV先進企業となる”ことを目指しています。本テキストではキリンホールディングスの“事業を通じて社会課題の解決に取り組む姿勢”や“食品・医薬品を扱う企業としての品質の取り組み”をお伝えいたします。コロナ禍の厳しい環境だからこそ、CSV経営をより一層深化させ新たな成長ステージを目指しているキリングループの紹介が、皆様のSDGsに向けた活動に役立てていただければ何よりです。</p>	<p>キリンホールディングス株式会社 CSV戦略部 グループ企画担当 <b>金田 大樹 著</b></p>
451	部課長 現場	<p><b>2.「これからのコミュニケーションの取り方」</b></p> <p>コロナ禍において職場の様子は一変し、コミュニケーションの取り方も大きく変化しました。リモートの活用というテクニカルな事だけでなく、会社や仕事が優先されるのが当たり前、という認識が崩れていることを直視する必要があります。前提が違うと、どんな方法をとってもコミュニケーションは成り立ちません。互いの価値観をどうつないでいくのか、これからのコミュニケーションの取り方を4つの視点でわかりやすく解説します。</p>	<p>株式会社ジェイフィール 代表取締役/コンサルタント International Masters Program for Managers (IMPM) ジャパン モジュール、アドバイザー 特定非営利活動法人 World Theater Project メンバー <b>重光 直之 著</b></p>
452	部課長	<p><b>3.「変化を超えて未来を拓く方針管理」</b></p> <p>顧客・社会のニーズ・期待など組織を取り巻く経営環境は常に変化しています。組織が持続的に発展するには変化を的確に把握し、迅速に改善・革新することが肝要です。方針管理は、プロセスの改善・革新を組織的に実施する有効なツールとして生み出され、多くの組織が取り入れています。本テキストは、方針管理の本筋を探り、方針に基づくPDCAサイクルをどう回せば、組織が目指したい姿を実現するための道筋を拓けるか解き明かします。</p>	<p>村川技術士事務所 所長 <b>村川 賢司 著</b></p>
453	部課長	<p><b>4.「品質保証の業務と人材教育」</b></p> <p>2021年6月に全ての食品等事業者を対象にHACCP制度化が始まりました。HACCPなどのシステムは導入が始まりであり、継続的に維持・向上をしなくては形骸化します。食品等事業者における品質保証の業務の中で、HACCPは一部であり、消費者や他事業者に安全な食品を供給するために様々な取り組みが行われています。製品導入時の評価、法規対応、品質監査、トラブル対応などの品質保証業務と、それらを遂行するための人材育成の一端を紹介いたします。</p>	<p>東京海洋大学 学術研究院 食品 生産科学部門 大学院食品流通安全管理専攻 教授 農学博士 <b>松本 隆志 著</b></p>
454	部課長	<p><b>5.「新たな価値創造としてのサービスエクセレンス」</b></p> <p>「サービスエクセレンス」とは、卓越した顧客体験をもたらす優れたサービスを提供し続けることができる組織能力です。組織が「サービスエクセレンス」を獲得することで、エクセレントサービスの設計活動が展開され、ポジティブな感情を伴う顧客体験の提供がなされ、顧客満足を超える「デライト(≒喜び・感動)」を顧客が感じます。この感情は顧客に組織への信頼を抱かせ、リピーター・推奨者として、新たな価値創造と利益を組織にもたらします。本テキストでは、サービスエクセレンスパラミッド、サービスエクセレンスという組織能力の要素、新たな価値創造を実現するためのエクセレントサービスの設計活動、顧客と提供組織との「共創環境」構築、顧客接点・データ接点の設計とIoTテクノロジーの重要性について、解説します。</p>	<p>東京大学 総括プロジェクト機構 「Quality と Health を基盤に おくサービスエクセレンス社会 システム工学」総括寄付講座 特任教授 <b>水流 聡子 著</b></p>
455	現場	<p><b>6.「ワクワク・イキイキするモノづくり・コトづくり～守りの品質から攻めの品質へ～」</b></p> <p>100年に一度の大変革、人生100年時代。そして、COVID-19 による社会の変化の中で、顧客の要求通りの品質を作り込む「守りの品質」だけではなく、顧客への仮説検証を繰り返すことで品質を上げていく「攻めの品質」が求められています。その中で、自らがワクワク・イキイキと感じられることと従来のことをかけ合わせ、周りを巻き込みながら新しい価値を生み出していくことを“楽しむ”方法をお伝えします。</p>	<p>株式会社デンソー 情報通信開 発部事業開発4室 所属 兼「ふれAI」プロジェクト代表 <b>加納 健良 著</b></p>
456	現場	<p><b>7.「ニューノーマル時代のQCサークル活動」</b></p> <p>コロナ禍で三密回避が叫ばれる中、全員参加を実現する上で重要な役割を果たすQCサークル活動と感染防止策との両立が課題となっています。この状況を克服していく有力な方法の一つにITの活用があります。しかし、本質は何かを考え、従来のやり方を大きく変えていくことは容易でなく、組織や職場によって対応がまちまちとなっています。この背景には、進化しつつあるITにどんなものがあり、そのメリットやデメリットがどこにあり、それをどのように自分達の活動に活用していったらよいかわからないことも影響していると思われます。本テキストでは、こういった状況を踏まえ、QCサークル誌の連載企画「ニューノーマル時代のQCサークル活動」をベースとしてITをQCサークル活動へ活用するための様々な工夫やヒントを紹介いたします。</p>	<p><b>QCサークル誌運営・推進の ページ(2021年上期)小委 員会 著</b></p>